

コーチング・コミュニケーション研修に参加して

東埼玉病院 薬剤部 足立 遼子

開催概要

平成30年6月15日(金) 国立病院機構本部研修センターにて開催されたコーチング・コミュニケーション研修が開催されました。NHO、NC各施設から計24名が参加しました。対象者が採用後5～10年程度の中堅薬剤師ということもあり実際に主任として業務に就かれているか、もしくは部下をもちながら主任と同様に業務に当たられている方が出席していました。

コーチング・コミュニケーションについて

講師のグロースアジェンダの田中吾朗先生より、今回の研修の目的と概要について初めにお話がありました。今回は『コミュニケーションスキルとして』のコーチング及び管理業務の基本知識を習得し、後輩の適切な指導などの中堅薬剤師たる資質を有する人材を育成することが目的とのことでした。

講義

講義内容を以下に示します。

- ・コミュニケーションと職務遂行
- ・監督者の役割
- ・組織におけるコミュニケーションとリスク管理
- ・コーチングコミュニケーション
- ・指示の出し方
- ・報告の受け方

- ・フィードバック
- ・危機管理のための対応
- ・ストレスマネジメント
- ・ストレスのメカニズムと影響
- ・メンタルヘルスのケア

以上のように、自分たち『中堅薬剤師』に求められる立場や、ひいては組織の構造、組織の中で円滑に業務を進めていくために必要なコミュニケーションの方法について体系的に学ぶことができるようになっていました。

今回の研修の主題でもあるコミュニケーション・スキルに関する講義では自分たちよりも上司となる先生方が受講される「管理者研修会」や、自分たちの後輩が受講する「新任薬剤師研修会」とリンクする内容となっており、それぞれの薬剤師の立場を踏まえた上でコミュニケーションをとる必要があることが改めて分かりました。

スモールグループディスカッション

「指示の出し方」、「報告の受け方」など実際に業務に直結するようなコミュニケーション・スキルに関してスモールグループディスカッションが行われました。実際の薬剤部内で起こり得る場面を想定し2人組や6人程度の小グループで実際にコミュニケーションの方法を検討しました。同年代の薬剤師が相手ということもあり当初気恥ずかしさもありましたがたいへん有意義なディスカッションができたと思います。

研修を受けての感想

私達中堅薬剤師になると専門や認定取得者も多く、それぞれ『自分自身』の専門領域をブラッシュアップする講義や研修を受講することがメインとなっていると思います。しかしながらそれ以外にも『薬剤部内』での業務遂行能力や後輩薬剤師の育成の重要性を痛感することも多く今回これらについて学ぶことができとても有意義であったと感じています。また、何より同年代の薬剤師が集まり日頃の業務の悩みを相談しあったりと研修以外でもたくさんの収穫がありました。

最後に

最後になりましたが、この場をお借りして本研修を開催していただいた関信地区国立病院薬剤師会の先生方、講師を担当していただいた田中吾朗先生、チューターとして進行して下さった教育研修部の先生方に心より御礼申し上げます。また本研修への参加に協力していただいた国立病院機構東埼玉病院薬剤部の皆様にも重ねて御礼申し上げます。

